

(発行日 ; H 年 月 日) ID ; _____


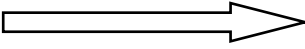



小児感染性胃腸炎入院診療計画書

様



※退院の目安 ; 便性が改善し、食事摂取できるようになる。

☆予想される入院期間 _____

	急性期(発熱、下痢、腹痛、嘔吐) ; 絶食	回復期(解熱、便性の改善) ; 食事開始
目標	<ul style="list-style-type: none">・脱水症状が改善し、腹痛・嘔吐が沈静する。・飲水、食餌制限が守られる。	<ul style="list-style-type: none">・腹痛なく、経口摂取できる。・便性が改善し、排便回数が減少す
検査	<入院時> 血液検査・尿検査・便培養・腹部レントゲン撮影をおこないます。 	<退院前> 血液・尿検査を行いません。 
治療	点滴 <ul style="list-style-type: none">・持続点滴を行います。・必要時 時間毎に抗生剤を点滴します。 	内服薬 <ul style="list-style-type: none">・現在内服中のお薬があれば、看護師にお知らせ下さい。・時間毎に看護師がお薬を配ります。お子様が上手にのめる内服方法がありましたらお知らせ下さい。 
	食事	
清潔	<ul style="list-style-type: none">・全身の観察をさせて頂くために、毎日昼間に身体を拭きます。(病状に応じて洗髪も出来ます)・点滴中に着替えをする際には看護師にお知らせ下さい。・点滴固定用の板やテープは毎日交換します。テープがはずれそうな時には早めにお知らせ下さい。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none">・点滴をしている間は排泄は尿器・ポータブルトイレ(おまる)で行い、尿量を測定します。(オムツ使用の場合は重さをはかります)・詳しくは看護師が説明いたしますが不明な点はお尋ね下さい。・便の性状を観察しますので排便時お知らせ下さい。	
安静度	<ul style="list-style-type: none">・病状が軽快し主治医の許可があるまでは、お部屋で静かにすごしてください。	

※状況に応じて予定が変更になる場合があります。

※ご不明な点がありましたら、お尋ね下さい。



主治医;

受け持ち看護師;

患者または保護者のサイン

(続柄)